

地域交流

中学生ブリッジコンテスト/（一社）山口県建設業協会
第58回 岩国まつり/岩国支部

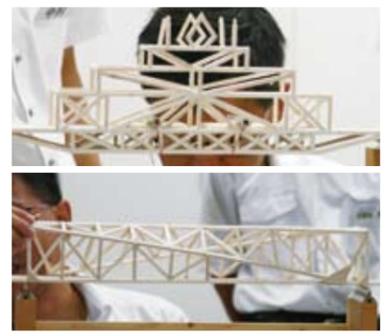
見て体験して 地域と繋がる建設業のイベント

■中学生ならではのアイデアが
ものづくりを輝かせる！
「中学生ブリッジコンテスト」
開催！！

中学生にもものづくりの楽しさを
体感してもらい、建設業、また土
木・建築系専攻科のある実業高校
へ興味関心を持ってもらおうと、
8月22、23日「中学生ブリッジコ
ンテスト」を徳山駅ビル2階・市
民多目的広場にて開催しました。
（山口県立徳山商工高等学校主催、
（一社）山口県建設業協会、（一
社）中国建設弘済会共催、周南市
教育委員会後援）



このコンテストは、軽量の木材
であるバルサ材を使用してオリジ
ナルの「橋」を製作し、デザイン・
軽さ（経済性）・強さ・プレゼン
テーションを競い合うもので、今
回は3回目の開催となります。参
加したのは、公募により応募され
た中学生8校16名で、徳山商工高
等学校の生徒が2日間を通してマ
ンツーマンでサポートをしました。
1日目は製作日。まずは橋の構
造について学び、その後、各々が
設計図を作成しオリジナルの橋を
製作しました。
2日目はよいよコンテスト日
です。ざらりと並んだ16作品は
キーキの形を模したユニークなデ



ザインの橋から、強度重視のシン
ブルな橋までさまざま。発表時間
1分間のプレゼンテーションでコ
ンセプトや工夫した点など作品の
PRを行い、デザイン、質量、強
度について審査が行われました。
中でも1キロずつ最大5キロま
での荷重をかけていく強度コンテ
ストでは、胴体部分がたわみ、大
きな音をたて崩れ落ちる橋もあり、
木材のきしむ音に会場全体が固唾
を呑みました。

激戦の中、優勝に輝いたのは、
周南市立太華中学校3年の本田
悟くん。デザイン、質量、強度、
プレゼンテーションにおいて、総
合的に優れており、バランスのと
れた作品として評価を受けました。
参加した中学生は「ものづくり
がこんなに楽しいとは思わなかつ
た。もっと勉強して新しいものを
つくってみたい」「今回は強度コ

ンテストで壊れてしまったけれど、
実際に壊れない本物の橋を作りたい
い」など意欲的な意見がたくさん
聞かれました。また、サポートし
た高校生からは「中学生のアイデ
アを生かしながら、どうやって強
度をあげていくか悩んだ」「橋の
製作と同じくらいプレゼンテー
ションの指導が難しかった」など、
コミュニケーションについての課
題も挙がりました。
大会会長を務められた徳山商工
高等学校・河村 隆校長にお話を
伺うと「軽さ、強度、美しさ、ユ
ニークさ。相容れない要素を工夫
して融合させる、生徒ならではの
独創的な感性に感動しました。日
常からこの観点を大切にしていけ
ば、創造性がよ
り膨らんでいく
のではと思いま
す」と若い生徒
たちの可能性に
期待を膨らませておられました。
実行委員長である徳山商工高等
学校・松井 幸司先生は「リビ
ターも多く、かなり中学生のレベ
ルが上がっていると感じました。
指導にあたった高校生たちも、人
に教えることで自分の足りない部
分が分かり、また理解も深まるこ
とを実感できたのではないでしょ
うか。コンテストの認知度も年々



松井先生
上がっており嬉し
い限りです。中学
校を訪問して課外
授業をする『出前
授業』でのPRな
ど、今後ともものづくりや実業高
校の楽しさを、どんどんと外に向
けて発信していきたいと思いま
す」と話しておられました。
参加した皆さんのこだわりが
光った今回の大会。「つくりたい
ものを形にする」という、ものづ
くりの醍醐味を感じられました。
参加された皆さんが、将来ものづ
くりの現場で活躍されることを
願っています。

■「第58回岩国まつり」で
建設業をPR！

好天に恵まれた10月19日、岩国
駅周辺を中心に行われた「第58回
岩国まつり」に、岩国支部の青
年部が参加し、建設業のPRに努
めました。岩国支部の参加は今回
で5度目。岩国建設会館前に「け
んせつきかい体験コーナー」を設
置し、16社から計16名が、準備・
運営にあたりました。

ブースでは、ラジコンのパワー
ショベルを使ったお菓子のすくい
取りゲームや、くじ引き、実際の
パワーショベルの展示・記念撮影、
山口県の治水事業への取り組みや
次代に向けた建設業PRパネル展
示が行われ、多くの家族連れが列
をつくっていました。
中でもお菓子のすくい取りゲー
ムは人気で、子供達の表情も真剣
そのもの。ボタン操作を教わりな
がら、ショベルの位置を調整し、
見事お菓子が取れると歓声があ
がっていました。



八木秀典さん



指揮をとられていた岩国支部・
副支部長でもあり、青年部部長の
八木 秀典さん（八木興業(株)代表）
にお話を伺うと、「イベントへの
参加はすっかり定着して年々来場
者も増え、今年は500〜600
人の方がコーナーに来てくれまし
た。建設
機械は子
供に人気
があつて
ここを目
当てにお

祭りに来た！と言ってくれる子も
いて嬉しい限りです。建設業を身
近に感じてもらうことで、現場で
仕事をする際にも協力を得やすい
ですし、災害復旧や治水事業など
も知って頂く良い機会だと思いま
す。今後も続けていきたいです
ね」とおっしゃっていました。
平成26年8月6日に岩国市で発
生した土砂災害においては、各社
とも休日返上で復旧活動にあたら
れた岩国支部。八木さんは「地域
を守る一員として、他の機関との
連携を強め、今後より迅速な対応
ができれば」と決意を新たにす
ておられました。

一般の方々
があまり見る
事がない活動
も、イベント
等で紹介し、
「建設業界パ
ンフレットや
社会貢献活動
のPRチャ



パンフレット

下関支部「長府企業フェスタ」



シ」を配布す
ること理解
が深まり、建
設業の必要性
を改めて再認
識していただ
く機会になり
ます。こうし
た催しを通じ
て、建設業の
イメージアップ、また子供達が建
設業へ興味を抱ききっかけになる
ことを願っています。



長門支部「いきいきのびのびなごとふるさとまつり」

平成26年度の建設業PRイベント活動一覧

支部名	参加イベント	活動内容	実施日
下関	第12回長府企業フェスタ	「重機で遊ぼう!」「道路豆知識クイズ」等	10月4日、5日
岩国	第58回岩国祭	「けんせつきかい体験コーナー」	10月19日
長門	第30回いきいきのびのびなごとふるさとまつり	「防災・重機体験コーナー」	10月26日